

世界遺産センター遊歩道

全長 520 メートルの世界遺産センター遊歩道は、センターの裏手から仙ノ山の展望台まで続いています。仙ノ山周辺は、1500 年代中盤以降、石見銀山が発展していった場所です。遊歩道を登っていくと、腰を下ろして一息つける休憩所に直接つながっており、そこから左に折れ、ヒノキの森を抜けると展望タワーの下に出ます。このタワーの展望台からは、地域の全体像をつかむことができ、大森町、山吹城跡、日本海の海岸地方、標高 1,126 メートルの三瓶山、大山隠岐国立公園内にある活火山のクレーターを取り囲む 6 つの峰々など、主要な観光地の一部を見ることができます。展望タワーからは、さらに 1.5 キロメートル歩いて、仙ノ山の頂上付近にある石銀まで登ることができます。石銀は、銀山の最盛期に賑わった大規模な集落跡です。あるいは、2 キロメートル下って、大森町の銀山公園に向かうこともできます。これらの登山道とそれらにつながるその他のコースの一部は、全行程にはっきりと目印が設置されているわけではないため、展望タワーからさらに歩く予定の方は、センターのインフォメーションデスクで無料の地図を入手した方がよいかもしれません。